

MICS（低侵襲心臓手術）における経食道心エコーガイド下脱血管留置

1. 研究の対象

2023年4月～8月に当院でMICSによる手術を受けられた方（50～90歳）

2. 研究目的・方法

心臓手術では、胸骨を大きく切開し、心臓を止めている間、全身への循環を絶やさない体外循環法のため血液を体外に導く脱血管や体に返す送血管をここに挿入します。一方、MICSは右肋間を約10cm切開するだけで手術を行う体への侵襲が小さい治療法ですが、手術用のスペース確保のため脱血管を右頸部から静脈に入れて心臓の手前に留置します。その際、X線透視でガイドしながら正しい方向に進め脱血管先端の深さを調整しますが、透視では血管や心臓が見えないため気管支を目印として留置しますが、ずれていることもよくあります。心臓手術では心臓や脱血管などを可視化できる経食道心エコー（TEE）を使っているため、それを脱血管留置のガイドとして活用しようと考えていて、そのためにこの研究ではMICSで治療を受けられた方のCT画像を解析します。TEEだけでガイドができれば、被爆もなく、透視装置を準備したり防護服を着る必要もないため、メリットが大きいと思います。研究期間は、倫理委員会承認日～2024年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

検討のために用いるのは、電子カルテ内に保存されている年齢、性別、手術の種類、CT画像などで、いずれも個人を特定されない形で検討を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部麻酔科 特任教授 渡橋和政（研究責任者）

[TEL] 088-888-2022（連繋医工学内）